

令和2年度 東郷町図書館協議会会議録

1 開催日時

令和2年7月8日（水）午後2時から午後3時まで

2 開催場所

東郷町民会館2階 大会議室

3 出席委員

加藤正春(学識経験者)、野々山清子(社会教育委員会代表)、
長谷川厚(小学校校長代表)、松本仁志(中学校校長代表)、竹内明美(保育園代表)、
近藤浩子(児童館代表)

4 欠席委員

梶原博子(学識経験者)、高林龍彦(小中学校PTA連絡協議会会長)

5 事務局

生涯学習課 教育長、課長、主査、主事

6 指定管理者

東郷町施設サービス株式会社

代表取締役社長、総務部長、図書副館長、図書館担当

7 傍聴者

1名

8 会議内容

(1) あいさつ

(2) 委嘱状交付・自己紹介

(3) 議題

ア 令和元年度 図書館事業実績報告について

イ 令和2年度 図書館の運営について

ウ 電子書籍の導入について

エ ららぽーと愛知東郷内での図書館サービスについて

(4) その他

9 会議記録

下記のとおり

会議の内容

1 あいさつ（教育長）

お忙しい中、図書館協議会の委員をお引き受けくださり、また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温や消毒等に御協力いただき、誠にありがとうございます。本日は、新たに取り組んでいきたい事業についても議題としてあげさせていただいております。皆様に、それぞれのお立場から忌憚のない御意見をいただきたく存じます。

2 委嘱状交付・自己紹介

3 議題

(1) 令和元年度 図書館事業実績報告について

※ 副館長より、会議資料1に基づき説明。

- ・開館状況及び利用状況について
- ・読書推進事業について
- ・資料整備及び点検等について
- ・新型コロナウイルス対応小学生図書宅配サービスについて

【質疑等】

委員 新型コロナウイルス対応の小学生宅配サービスは、どのような方法で行われたのか教えてほしい。

副館長 学校に御協力をいただいて、宅配サービスのお知らせメールを全児童へ配信してアナウンスした。図書館HP上の申し込みフォームより必要事項を入力して申し込みを行った。図書利用カードを持っていない児童へは、申し込み時の入力データを用い、カードを作成し、貸出処理を行い、カードは本と共に配達した。その際、誤配を防ぐため、保護者、児童共に詳細まで必要事項を入力してもらった。カードを持っていない児童へも楽しんでもらえるように施策した。

また、本は、学年・性別・申し込み時に任意記載である好きなジャンル等を参考に、司書が3冊選書し、町・図書館からのメッセージを添えて配達した。配達の際、新型コロナウイルス感染拡大防止のため児童、保護者と配達スタッフとの接触を避けるため、インターホン越しで宅配に来たこ

とを伝え、梱包した本を置かせていただいた。

委員 返却はどのようにしたのか？

副館長 返却に関しては、宅配本に返却の案内を同梱した。図書館の返却ポストまたは開館してから返却してもらうように案内したところ、約半数が返却ポストへ返却された。

委員 子どもだけでなく、老人へのサービスも検討していただきたい。自宅から図書館まで距離があり、町バスを利用しているが、本数が少ないためなかなか足を運ぶのが困難。周りでも本が好きな人がたくさんいるため、今すぐにとは言わないが本を積んだ車を地域のコミュニティセンターに年に一回でも来てくれるとありがたい。移動図書館のようなものが、コミュニティセンターの駐車場へ来てくれると地域の人々が喜んでくれると思う。検討してくれたらありがたい。

委員 去年の協議会の中で、このスペースしかない図書館をどう使っていくかという話をしたが、幼児期の子どもをいかに育てていくかが一番大事だと思う。童話コーナーの充実や図書館の場所が分からない人にとっての施策の話をしたのだが、事業実績報告の中で全く出てこなかったがどのような活動をされたのか。

副館長 事業報告の中で示していなかったのは申し訳ない。ただ、蔵書数が溢れ返っていること等様々な問題がある中で、図書館として何ができるかを検討しているところである。例えば、AV資料では、VHSからDVDへ買い替える中で、児童向きの分をどれくらい準備するかを検討している。形として残してお知らせできるものはなかなかなかったが、休館や小学生宅配サービスを経て、秋からのららぽーと愛知東郷内での図書館サービスの実施に向けて、一から仕切り直して取り組んでいきたい。

委員 同じことをやっていくことは大事だが、同じことの繰り返しをしていくだけでは劣化していく一方。これだけのスペースを何かに特化して、どこにターゲットを持つのかを明確にしないと、溢れ返るものばかりで整理がつかないのではないか。東郷町の図書館へ行くとこれがあるというような目玉があるといい。限られた予算の中で成果をあげてくれるとありがたい。

委員 町外から越してきた人から図書館の場所が分からないという声をよく聞く。初めて訪れた人にも分かりやすいように示して欲しいと以前から言ってきているが、その辺りについてはどうか。ららぽーと愛知東郷への進出を、今までのマイナスイメージからプラスへと変えていって欲しい。

副館長 場所の表記については、町民会館の階段、エレベーターホールに掲示板を設けて案内をするという計画をしていたが、スケジュール的に時間が取れずストップしている。改めて計画を立て直して実施していきたい。

※ 令和元年度 図書館事業実績報告については、承認された。

(2) 令和2年度 図書館の運営について

※ 副館長より、会議資料2に基づき説明。

- ・管理体制について
- ・運営方針について
- ・主な取り組みについて

【質疑等】

委員 新型コロナウイルス感染拡大防止のため苦しい状況下の中、小学生宅配サービス等の取り組みは、ありがたい。この状況下で本の貸し出し、人が集まるイベント等ができないのであれば、啓発という視点で新たなことができたら良いと思う。

例えば、紙媒体は今の世代は見ない人が多いため、電子媒体を使い、LINEで友達登録をしてもらい、本のサービスを受けれるようにすれば、より身近に感じてもらえるのではないか。子どもの環境を作るのは親なので、親に対して新しいことへの提案、啓発に重点を置く一年にしてはどうか。

委員 道具をいかに活用するかをぜひ検討してもらいたい。ターゲットは小さい子、その親だと思う。

委員 他の市町に比べて東郷町の図書館は非常に狭いし、本も少なくて残念。しかし、カウンターの司書は来館者に対して非常に親切で対応が良い。目当ての本が見当たらず困っていると、一緒に探してくれるし、周りからもそういう声を聞いたことがある。これからも引き続きお願いしたい。

※令和2年度 図書館の運営については、承認された。

(3) 電子書籍の導入について

※ 事務局より、会議資料3に基づき説明。

- ・電子書籍とは
- ・電子書籍のメリット、デメリットについて

【質疑等】

委員 利用希望者はどのようにして借りることができるのか。

副館長 パソコン、タブレット、スマートフォン、携帯電話等インターネット環境下にて利用ができる。最初に専用のIDとパスワードを発行してログインすると、書籍の検索・閲覧・貸出・返却が可能。ログインなしでも町誌、

民話等読んでいただけるよう掲載できる。学校や他の市町からの閲覧も可能であり、町のPRもしつつ、上手に活用していただきたい。

委員 インターネット環境から遠ざかっている人には活用が難しいかもしれない。それらの人へは宅配図書を行っていただいたり、電子書籍を見る媒体をコミュニティセンターへ置いたりしてもらえると助かる。ネット社会だから若い世代には使いやすいと思う。

委員 若者は電車内でよく電子書籍を読んでいる。小さい子を持つ母親は病院等の待ち時間に絵本を持っていくことがあるが、ただでさえ荷物が多い中で大変だと思う。その点、電子書籍があれば助かるだろう。反対に、デメリットとしては実際に本の現物を見せることの大切さは得られない。たくさん読んで、ボロボロになった本をたくさん読んだねと教えることはできない。両方の良いところを取り入れながら、図書サービスの充実を図ってほしい。

(4) ららぽーと愛知東郷内での図書館サービスについて

※ 事務局より、会議資料4に基づき説明。

- ・図書館サービスの概要

【質疑等】

委員 新規事業に見合った成果をあげてほしい。

委員 自分の中で描いていた図書館サービスのイメージとは大きく違った。現在の図書館よりも大きい図書館サービスを想像していたため、イメージがダウンしてしまった。

4 その他

【質疑等】

委員 新型コロナウイルス感染防止対策が必要な中で、図書館はどのような開館をしているのか。人数制限等あるのか。

副館長 6月に開館してすぐの段階では30分で完全入れ替えという制限を設けていたが、現在は自由に入ることができる。ただ、滞在時間短縮の御協力をお願いしており、また、感染者が生じた場合の感染拡大防止対策として、図書利用カードの読み取りを行ったり、館内が密集状態にならないよう図書館カゴを利用いただき、人数把握を行う等の新しいルールを始める。一度に50人くらいまでは入っていただけるよう準備している。